

## 〔国際会議開催〕

申請者	豊橋技術科学大学 教授 澤田 和明	2155007
国際会議名称	アジア太平洋センサ・マイクロ・ナノテクノロジー会議 (APCOT2016)	
開催期間	2016年6月26日～6月29日	
開催場所	金沢市文化ホール (石川県金沢市)	
申請者の役割	実行委員会委員長	

## 概要：

アジア太平洋センサ・マイクロ・ナノテクノロジー会議 (Asia-Pacific Conference of Transducers and Micro-Nano Technology 2016) は、微小電気機械システム (MEMS) 加工技術、各種トランスデューサ及びセンサをはじめ、それらを応用したデバイス関連の技術をテーマとしたアジア・太平洋地域での最大規模の国際学術会議で、2年に1度アジア各国で開催されている。アジア地域での研究を活発化する狙いとして、第1回は中国・アモイにて2002年に開催、その後札幌 (2004)、シンガポール (2006)、台南 (2008)、パース (2010)、南京 (2012) 韓国・テグ (2014) にて開催され、第8回を日本・金沢で開催することができた。本国際会議は、アジア地域をはじめとする世界各国から一線級の研究者が、この分野の最新成果を発表・議論することを目的とするだけでなく、アジア太平洋領域の大学院生を含む若手研究者の登竜門として位置づけて開催を行った。その結果、これまでほとんど参加がなかった国も含め13ヶ国、200件以上の論文が投稿された。また採択論文の半分以上は日本国外からの論文発表となり、アジア太平洋領域における研究者の情報交換の場として価値ある国際会議が開催できた。また本会議では新たに“国際産学交流セッション”を設け、産業界と学界との学術連携を加速する取り組みも行った。伝統的な文化と新しい風が調和する金沢に集結し、次の世代のセンサ・MEMS技術について熱く討論を行った国際会議を行うことができた。